

## 第9回 五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会

## 令和3年度の実施取組内容

■国土交通省 延岡河川国道事務所 . . . . .	1
■宮崎地方気象台 . . . . .	9
■宮崎県（延岡土木事務所、西臼杵支庁） . . .	12
■熊本県 . . . . .	17
■大分県 . . . . .	21
■延岡市 . . . . .	25
■佐伯市 . . . . .	32
■高千穂町 . . . . .	34
■日之影町 . . . . .	36
■五ヶ瀬町 . . . . .	38
■高森町 . . . . .	40
■山都町 . . . . .	42

# 令和3年度の実施取組内容

国土交通省 延岡河川国道事務所  
延岡市 危機管理課

②水害リスク・ハザードマップの周知

【企業向け水防災啓発活動の取組】

○毎年、商業施設が浸水によって多大な被害を被っていることを踏まえ、延岡市内の浸水区域内の商業施設を対象に、出水期に備えて防災情報の提供を行った。日頃使用するスマートフォンを使って防災情報の入手等を実践した。

企業の担当者が段階的に職員に防災啓発活動ができる方法を紹介



■ニーズ  
職員への防災啓発を簡単に実施したい  
・インターネットで公表されているけれど難しい  
・職員に防災啓発は必要だけど、どのようにすればいいかわからない

**川の情報を知る**  
近くの川の水位はどれくらい？  
堤防までどれくらい？

**雨の情報を知る**  
何時間後に雨が降る？  
線状降水帯が発生してる？  
1時間後はビュッパッ

延岡河川国道事務所 五ヶ瀬川防災ポータルサイト【6画面表示】  
見たい画面を6画面で表示できます

**スマホで実践**

ハザードマップポータルサイト  
洪水を選択  
おまちハザードマップ

スマホで想定最大規模降雨時の浸水深を確認する方法を実践

様々な防災情報の提供

④実効性を高める訓練、研修会の実施

【古川地区におけるマイハザードマップ・コミュニティタイムライン、マイタイムラインの作成】

- 第1回会議では、防災に関する基礎知識を学んだ後に、まち歩きとマイハザードマップづくりを行った。
- 第2回会議では、避難のタイミングを検討するタイムラインの検討を行った。
- 第3回会議では、定期的に訓練でマイハザードマップとコミュニティタイムラインを確認することとした。

マイハザードマップづくり



第1回会議 (R3.7.26実施)

コミュニティタイムライン作成



第2回会議 (R3.10.12実施)

マイタイムライン作成

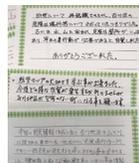


第3回会議 (R3.10.26実施)

スマートフォンによる防災情報の入手方法の確認

■参加者の感想 ~地区の防災力を高めていきたい~

- 町中の**注意場所の確認**ができた
- 情報の入手方法を**スマホ**でできるようになった
- この資料の活用し**地区の防災力を高めて**いきたい
- **スマホによる情報収集**はすばらしく**今後活用したい**
- **災害のない町**になる事を願います。非常に勉強になった
- スマホを**使い雨や河川情報を知る**事がわかり勉強になった
- ハザードマップを作る事で**災害を認識**し大切さを勉強した
- 水と山に囲まれ危険な箇所がいっぱいある、**早めの行動が必要**
- 今後防災についてみんなで確認し、**防災訓練に活用**していきたい
- 今迄のハザードマップや**各情報の詳細が非常に進んだ**様に感じた
- 危険箇所が把握でき、**どんな時に避難**すれば良いか**再考**できた
- **想定外の災害に備え**、防災放送等でまず**人命優先して避難**したい
- いかにか早く情報を確認するか、**ハザードマップは非常に助かる**
- 山と川に挟まれた所、**災害発生が命にかかわる事**が分かった



■成果

○住民自身が、いつ、どこに避難するかを考え、避難時の注意点を共有した。防災訓練などで地区防災力を高めていく活動につながった。



■今後に向けて~地域の人材との連携、地区防災計画への展開~

○今回、古川地区で実施したマイハザードマップやコミュニティタイムライン作成に用いた資料を研修セットとしてNPOや防災推進員に提供し、他の地区で防災教育を展開するための支援を行う予定である。合わせて地区防災計画への展開(延岡市)を行う予定である。

④実効性を高める訓練、研修会の実施

【まち歩きで危険箇所を確認、マイハザードマップの作成】

第1回古川地区マイハザードマップづくり  
～まち歩きで危険箇所を確認、マイハザードマップの作成～

古川地区のマイハザードマップづくりの第1回会議が行われました。第1回会議は、水害に関する基礎知識を学び、実際に現場に出て避難ルートを歩き、危険なポイントや気になるところを確認しました。約1時間かけて現地を回り、確認したポイントをマイハザードマップとして作成しました。最後に成果を皆で共有しました。

■日 時：令和3年7月26日（月）	■当日のスケジュール
■会 場：古川公民館	13:00～13:15 あいさつ
■参加者：古川地区住民、延岡河川国道事務所、延岡市危機管理課、延岡市消防本部、五ヶ瀬川流域ネットワーク（約30名）	13:15～13:30 水害に関する基礎知識
	13:30～14:30 まち歩き
	14:30～15:40 マイハザードマップ作成
	15:40～16:00 発表、次回の確認



古川地区 吉本区長

③マイハザードマップ作成 まち歩きで確認した危険箇所や気づきを整理

まち歩きで確認した危険箇所や気づいた点を付箋紙やシールを使って整理しました。



全体の状況（各班で確認した状況をマップに整理）



危険箇所にシールを貼付

①水害に関する基礎知識 延岡河川国道事務所から情報提供

水害に関する基礎知識について国土交通省延岡河川国道事務所より情報を提供しました。



国土交通省延岡河川国道事務所

過去の水害や想定最大クラスの水害に関する情報提供

②まち歩き 現地で危険なポイントや気になるところを確認

まち歩きによってがけ崩れや低い箇所などで浸水するところなど、避難をするにあたって危険なところなどを1時間かけて現地を確認しました。確認した箇所は写真を撮ってメモをとりました。



避難ルートの危険箇所を1つ1つ確認し写真撮影



1班の作成状況



2班の作成状況



3班の作成状況



まち歩きで確認した内容を付箋紙に記入してはりつけ



現場の写真確認

④成果確認 みんなでまとめたマイハザードマップを確認

みんなでまとめたマイハザードマップの成果を発表し、皆で情報を共有しました。



1班発表

2班発表

3班発表

⑤マイハザードマップの支援 市、消防、防災推進員、NPOが連携



延岡市防災危機管理課 前防災推進員

延岡市消防本部警防課

五ヶ瀬川流域ネットワーク

## (2) ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

延岡河川国道事務所  
延岡市 危機管理課

### ④実効性を高める訓練、研修会の実施

#### 第2回古川地区マイハザードマップづくり ～マイハザードマップの確認、コミュニティタイムラインの作成～

古川地区のマイハザードマップづくりの第2回会議が行われました。第2回会議は、第1回会議の成果であるマイハザードマップを確認しました。また、避難のタイミングを示したコミュニティタイムラインの作成を行いました。平常時から台風が接近して風が強くなる前に、どのような情報を収集して、いつ行動を起こすかについて付箋紙に書き出し、最後にコミュニティタイムラインの成果を皆で共有しました。

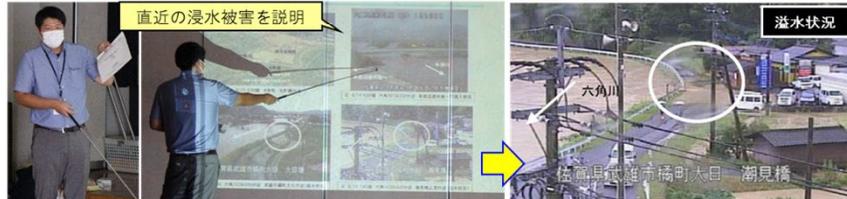
- 日時：令和3年10月12日（火）
- 会場：古川公民館
- 参加者：古川地区住民、延岡河川国道事務所、延岡市危機管理課、延岡市消防本部（約30名）
- 当日のスケジュール  
13:00～13:10 令和3年8月豪雨の概要説明  
13:10～13:40 マイハザードマップの確認  
13:40～13:50 コミュニティタイムラインの説明  
13:50～14:50 コミュニティタイムラインの作成



古川地区 吉本区長

#### ①令和3年8月豪雨の概要説明 直近に発生した浸水被害の状況を共有

直近に発生した令和3年8月豪雨における六角川の越水や溢水による浸水被害の状況を情報提供を行いました。



国土交通省延岡河川国道事務所 令和3年8月豪雨の説明（図は六角川の越水及び溢水の状況）

#### ②マイハザードマップの確認 避難するルートや危険箇所を再確認

第1回で実施したマイハザードマップの成果を確認し、危険箇所や避難ルート、追加すべき情報を確認しました。



平成17年の水害時の経験を共有しながら議論→早めの避難の必要性を確認  
住民1人1人の避難についても考えていく必要があるなど、活発な意見交換がありました。



安賀多神社付近の避難ルートを確認→サブルート追加



旧高千穂線と山からの水で浸水する箇所を追加

### 【コミュニティタイムラインの作成】

#### ③コミュニティタイムラインの説明 避難遅れをなくすための行動を知る

避難遅れをなくすために場面ごとの行動を示したコミュニティタイムラインの必要性を学びました。



平成30年7月豪雨の被災者の体験談から避難の課題を共有

#### ④コミュニティタイムライン作成 避難のタイミングを考える

早めの行動や住民1人1人の避難についても考えていく必要があるなど、活発な意見交換がありました。



1人1人の避難を考えることも大切

夜間の避難は危険

避難の支援が必要な人は早めの行動が必要

避難のタイミングについて議論し、場面ごととるべき行動をそれぞれ付箋紙に記入して整理しました。



議論した結果を付箋紙に記入してはりつけ

#### ⑤成果 みんなでまとめた成果を共有 次回の会議で最終確認

みんなでまとめたマイハザードマップとコミュニティタイムラインの成果を共有しました。（集合写真）



マイハザードマップ

コミュニティタイムライン

次回に最終確認

④実効性を高める訓練、研修会の実施 【マイタイムラインの作成、スマホで防災情報の入手方法を確認】

第3回 古川地区マイハザードマップづくり  
～避難方法の再確認、マイタイムラインの実践～

古川地区のマイハザードマップづくりの第3回会議が行われました。マイハザードマップとコミュニティタイムラインの最終確認を行い、一人一人の避難計画としてマイタイムラインの試作を行い、自分の家のリスクや避難場所までの時間、避難ルート上で注意すべき点や情報の確認を行いました。今回作成した成果は、公民館に常設し、定期的に訓練で活用される予定です。個人用としてA3版資料（ラミネート）が延岡河川国道事務所から配付されます。

- 日 時：令和3年10月26日
- 会 場：古川公民館
- 参加者：古川地区住民、延岡河川国道事務所、延岡市危機管理課、延岡市消防本部、五ヶ瀬川流域ネットワーク（約30名）
- 当日のスケジュール  
13:00～13:10 説明・これまでの振り返り  
13:10～13:40 マイハザードマップ・コミュニティタイムラインの確認  
13:40～14:20 マイタイムラインについて  
14:20～14:50 防災情報の入手方法の確認  
14:50～15:00 今後の活用方法・感想・集合写真



古川地区 吉本区長

③防災情報の入手方法の確認 防災情報の入手方法を知る

日頃使っているスマートフォンを使って雨や川の情報を入手する方法を学びました。



実際にスマートフォンで実践 防災情報を登録 資料を見て雨と川の情報を確認

①マイハザードマップ・コミュニティタイムラインの確認 避難の再確認

マイハザードマップとコミュニティタイムラインの最終確認を行いました。避難遅れにならないように緊急安全確保が出る前に確実に避難することを確認しました。



マイハザードマップの確認

コミュニティタイムラインの確認

④成果 公民館に大判の資料を常設、個人用はA3版で確認

みんなで確認したマイハザードマップとコミュニティタイムラインの成果を共有しました。（集合写真）

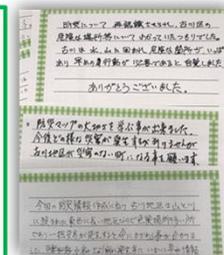


マイハザードマップ コミュニティタイムライン

⑤感想 想定外に備え、防災訓練に活用し、地区の防災力を高めたい

これまで3回の会議を通しての感想を書きました。

- 町中の**注意場所の確認**ができた
- 情報の入手方法を**スマホ**でできるようになった
- この資料の活用し**地区の防災力を高め**ていきたい
- スマホによる情報収集**はすばらしく**今後活用したい**
- 災害のない町**になる事を願います。非常に勉強になった
- スマホを使い雨や河川情報を知る**事がわかり勉強になった
- ハザードマップ**を作る事で**災害を認識**し大切さを勉強した
- 水と山に囲まれ危険な箇所**がいっぱいある、**早めの行動が必要**
- 今後防災についてみんなで確認し、**防災訓練に活用**していきたい
- 今迄のハザードマップ**の詳細が**非常に進んだ**様に感じた
- 危険箇所**が把握でき、**どんな時に避難**すれば良いか再考できた
- 想定外の災害**に備え、**防災放送**等でまず**人命優先**して避難したい
- いかに早く情報を確認するか、**ハザードマップ**は非常に助かる
- 山と川に挟まれた所**、**災害発生**が命にかかわる事が分かった



感想記入シート

古川地区 コミュニティタイムライン	平常時	台風発生時	台風接近	少雨・弱風	雨が降々に強くなる	台風接近後 雨風強い
気象情報	気象庁の発表を待つ	気象庁の発表を待つ	気象庁の発表を待つ	気象庁の発表を待つ	気象庁の発表を待つ	気象庁の発表を待つ
五ヶ瀬川の情報	水位計の値を確認する	水位計の値を確認する	水位計の値を確認する	水位計の値を確認する	水位計の値を確認する	水位計の値を確認する
自分の家のリスク確認	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する
住民（防災）	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する
住民	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する	自分の家のリスクを確認する

②マイタイムラインについて 一人一人の避難について考える

マイハザードマップとコミュニティタイムラインを使い、一人一人の避難(マイタイムライン)について考えました。



マイタイムラインの記入例

自分の家を起点としてのマイタイムラインを作成

⑥最後に 逃げ遅れをなくす、地区防災計画へ、平成17年災害を忘れない

延岡河川国道事務所、延岡市危機管理課、元防災推進員よりコメントをいただきました。



延岡河川国道事務所

延岡市危機管理課

元防災推進員

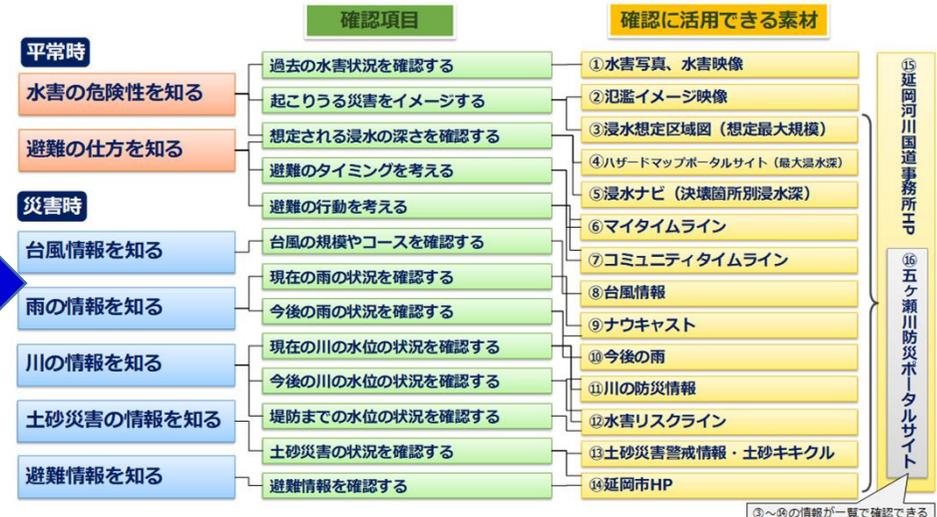
①避難体制、避難方法の周知

【実効性のある避難に向けた情報提供】

○高齢者避難の実効性確保に向け、延岡河川国道事務所と延岡市危機管理課が連携し、レベルに応じた情報提供の必要性を確認した。今後、ケアマネージャーなど関係者に提供し、実効性のある避難に向けた理解を促進する予定。

■レベルに応じた情報提供  
簡単なものから徐々にレベルをあげていく

■延岡河川国道事務所と延岡市危機管理課で連携  
高齢者の避難に関する情報提供について協議



まずは見てもらうことが重要

情報の入り口 (情報コンテンツ集) の提供

⑤ 情報伝達・情報共有・情報提供

【Twitterを用いた洪水予報の周知】

○近年の水害の激甚化を鑑み、自ら命を守る行動に繋がるよう、令和3年度から出水時の洪水予報を従来の自治体等への洪水予報の周知と同じく、**Twitterを用いて広く多くの方々にむけて配信を開始。**



国土交通省 延岡河川国道事務所

令和〇年〇月〇日〇時〇分発表

【警戒レベル3相当情報 [洪水]】 #五ヶ瀬川・大瀬川では、避難判断水位に到達し、今後、氾濫危険水位に到達する見込み  
川の防災情報：river.go.jp/portal/#80

Twitterでの配信のイメージ



その他、五ヶ瀬川・大瀬川の旬な情報や道路情報など、様々な情報も配信し、広報活動に努めています。

8年連続日本トップクラスの水質を誇る #五ヶ瀬川 で今秋も #鮎 の産卵が始まります。昨年は市街部にある「安留多の瀧」にて水中カメラで、貴重な鮎の産卵の様子を撮影することが出来ました。この #清流 五ヶ瀬川とこの豊かな自然環境を守り続けていきたいです。 #延岡河川国道事務所 #延岡市 #201



午後10:43 - 2021年10月14日 - Twitter Web App

#かわまちづくりの一大拠点、五ヶ瀬川右岸堤防コノハロード。植栽し、日々管理してきた #コットン が今年もたわわに実り、秋晴れの中、地元中学生と共に収穫作業が行われました。コットンは郷土の #環境学習 の一つとして地元小学校の花壇にも植えられるなど、年々広がりをみせています。 #701



午後1:09 - 2021年10月19日 - Twitter Web App

「#高千穂日之影道路（日之影深角1C～平底文差点）」の開通式典は、令和3年8月21日に行われ、午後3時から新しい道路が #開通 しました。引き続き安全運転をお願いします。当日の「通り初め」の様子は動画をご覧ください！ ※音がです #いのちとくらしをまもる防災減災 #205



午後3:54 - 2021年8月23日 - Twitter Web App

本日、開通前の「#高千穂日之影道路（日之影深角1C～平底文差点）」新平底トンネルにおいて、交通事故を想定した #防災訓練 を実施！ 関係機関の連携を図り、みなさまに『安全安心』に利用していただけるよう準備を進めています。 #いのちとくらしをまもる防災減災 #九州中央自動車道 #開通 #605



午後7:07 - 2021年7月30日 - Twitter Web App

延岡河川国道事務所 公式アカウント



https://twitter.com/mlit\_nobeoka

※Twitterで、「延岡河川国道」で検索可能

# 令和3年度の実施取組内容

宮崎地方気象台

③避難行動の周知

【eラーニング教材 改修版】

○台風・豪雨から「自らの命は自ら守る」基本的な知識ととるべき行動を、他人と接触せずに学べる教材。  
感染症拡大防止対策を気にする必要なし。

気象庁 eラーニング教材 「大雨のときにどう逃げる」 改修版



- 新しい生活様式での**オンライン学習**に対応(教材は気象庁HPで公開)
- **マイ・タイムライン**の事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

アドレス  
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



「自らの命は自らが守る」  
基本の知識を動画で学ぶ

約17分



自分の避難行動を  
ワークシートに整理

約30分



みんなで意見交換して  
自分の避難を再確認

約30~40分

Web会議でも実施できます

■成果  
予め「自らの命は自ら守る」基本的な知識ととるべき行動を学ぶことで、住民の自主的な避難の判断につながる。

■今後に向けて  
引き続き、出前講座、各種会議等の機会を利用し、利活用について周知啓発を行う。

1時間の学習にピッタリ

④実効性を高める訓練、研修会の実施

【地方公共団体防災担当者向け 気象防災ワークショップ】

- 気象台等から発表される防災気象情報に基づく地方公共団体の防災対応を疑似体験
- 土砂災害あるいは洪水災害が発生するおそれがある状況で、気象台等から発表される様々な情報を参照
- 少人数によるグループワーク

■成果

各種の防災気象情報を適切に理解し、有効に活用するとともに、体制の強化や避難情報の発令のタイミングなどに関する検討を行い、判断のポイントを学んでいただくことによって防災対応力の向上を図る。

■今後に向けて

Web会議を活用し、継続していく。

気象防災ワークショッププログラムの概要

避難情報・防災気象情報

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険を助ける安全確保！	緊急安全確保
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	災害状況悪化	身の避難行動確認	大雨・洪水・高潮・巨震 【気象庁】
1	災害発生状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	学校・事業所等 【気象庁】

防災気象情報の理解・活用（読み解き）



内閣府「避難情報に関するガイドライン」に基づく解説

グループワークで災害対応を疑似体験

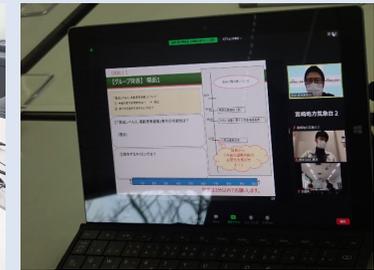
ガイドラインを気象状況などに当てはめて具体的に考えることによる実践力の育成

多様な参加者の間での議論による相互連携の醸成と新たな気づき



画像：梶岡博氏提供

対面ではなく、Web会議でも実施可能



令和3年11月18日  
Zoomを活用して自治体防災担当者と実施

# 令和3年度の実施取組内容

宮崎県  
(延岡土木事務所、西臼杵支庁)

②水害リスク・ハザードマップの周知

【学校教育機関を対象とした防災教育の推進】

○令和3年度土砂災害防止教室の実施



土砂災害防止教室(港小) (R3.6.30実施)

県民の方々に土砂災害防止に対する理解と関心を一層深めていただくとともに、土砂災害から身を守るための防災知識の普及・啓発を図っています。  
その一環として小学生を対象とした土砂災害防止教室を実施しました。

⑤情報伝達・情報共有・情報提供

【迅速かつ円滑な防災対応のための水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練を実施】ほか

- 令和3年度延岡地区防災対策会議の実施
- 令和3年度延岡地区防災訓練の実施



○大規模災害時の応急対策業務等について県と協定を結んでいる団体と国土交通省、延岡土木事務所、延岡市で出水期前に会議を実施。

平成17年の大水害を教訓にしながら、大規模災害発生時の連絡体制、協定内容、資機材の備蓄状況等の確認を行い、今後起こりうる大規模災害発生時の防災対策に備えた。

○訓練では、計画規模を超える洪水を想定した水防情報伝達訓練と道路冠水に関する情報伝達訓練を実施。

水防警報の伝達訓練では、実際に水防システムへの入力訓練とホットラインによる市への情報伝達を、道路冠水については、iPadを活用した現地との情報伝達訓練や、関係団体へ協定に基づく対応要請等の実習を行った。

(参加団体)

延岡土木事務所、延岡市、延岡地区建設業協会、宮崎県舗装協会、宮崎県法面保護協会、宮崎県測量設計業協会、県北生コン協同組合、宮崎県産業資源循環協会、宮崎県クレーン協会、宮崎県警備業協会、稲尾リース(株)

<効果>

- ・連絡体制、対応範囲、備蓄資材等について国、県、市、協定締結団体との情報共有が図られた。
- ・各団体の状況、今後必要な対応等について意見交換ができた。

<課題>

- ・継続的な取り組みが必要

②水害リスク・ハザードマップの周知

【学校教育機関を対象とした防災教育の推進】

○管内の小学校、中学校を対象に、土砂災害の啓発を図るため、管内3町で、土砂災害防止教室を開催した。土石流、崖崩れの模型を使用し、メカニズムを説明。視覚的に見せることで、改めて土砂災害の怖さを再認識出来た模様。家庭や地域での避難の大切さを再認識することが出来た模様。



参加人数：約70人  
高千穂町立上野小土砂災害防止教室（R3.6.3実施）



参加人数：約40人  
高千穂町立田原小土砂災害防止教室（R3.6.3実施）



参加人数：約40人  
日之影町立日之影小土砂災害防止教室（R3.6.4実施）



参加人数：約40人  
五ヶ瀬町立鞍岡小土砂災害防止教室（R3.6.8実施）

⑤ 情報伝達・情報共有・情報提供

【迅速かつ円滑な防災対策のための水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施】

- 大規模災害時に、迅速かつ的確に対応するため、西臼杵地区防災対策会議を開催、関係市町村、消防、警察、建設業協会等の関係団体との連携、緊急連絡体制の確認と情報伝達方法について確認を行った。
- 出水を想定したタイムラインにより、関係三町と連携して洪水情報伝達訓練を行い、異常気象時の情報伝達時の留意点等について、確認を行った。



防災対策会議・訓練 (R3.6.3実施)

参加人数：約40人

■今年度の防災対策会議の成果と課題

- 令和3年5月20日から、水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報が5段階に整理されたことから、新たな避難情報等について説明し意見交換を行った。併せて、タイムライン及びホットラインの対応について再確認を行った。

# 令和3年度の実施取組内容

## 熊本県

②洪水浸水想定区域図委の策定・公表

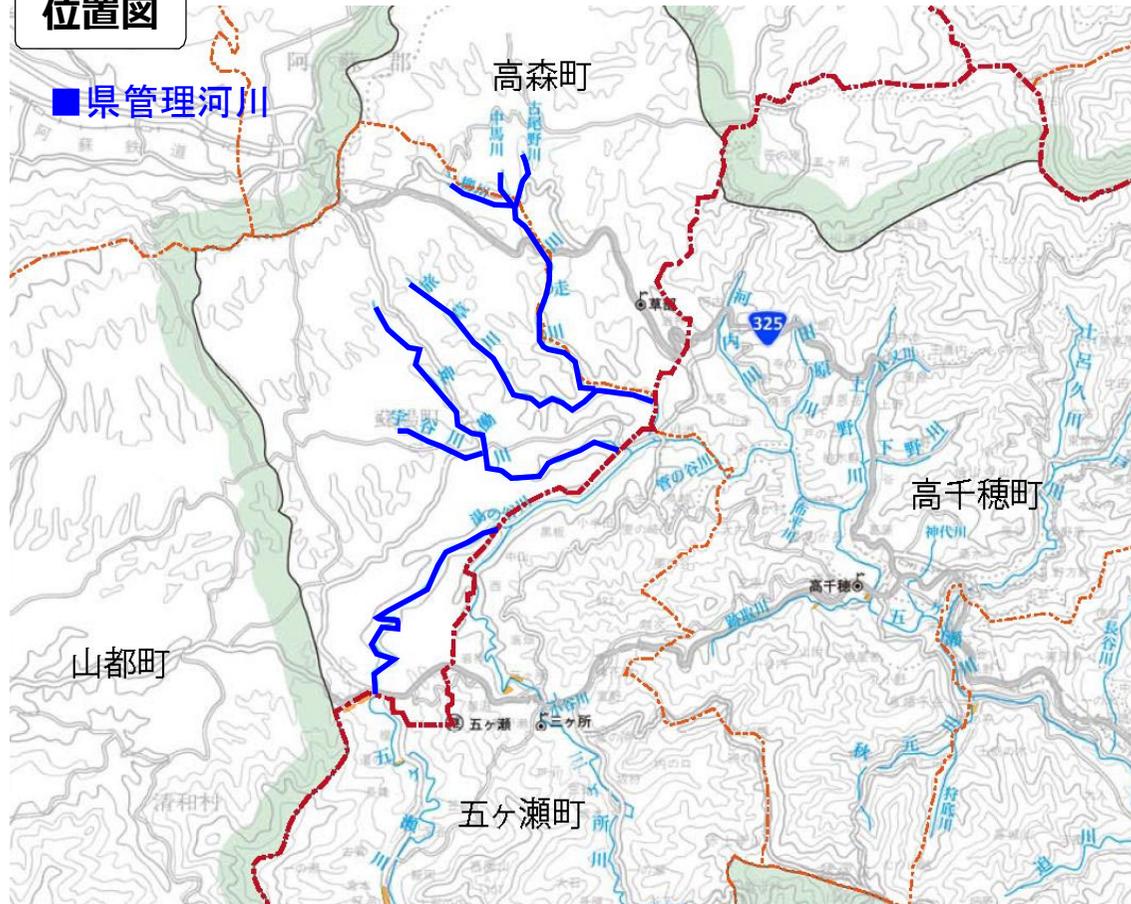
【五ヶ瀬川水系の県管理河川における浸水想定区域図の作成・公表】

○水位周知河川以外の河川についても、想定し得る最大規模の洪水浸水想定区域図を順次作成しており、五ヶ瀬川水系の県管理河川については、今年度末公表予定。

対象河川

- |       |      |       |
|-------|------|-------|
| ○五ヶ瀬川 | ○川走川 | ○旅草川  |
| ○柳谷川  | ○中島川 | ○吉尾野川 |
| ○神働川  | ○宇谷川 | ○湯ノ谷川 |

位置図



【作成例】 白川の浸水想定区域図 (想定最大規模)



②避難確保計画、個別避難計画、避難訓練

【要配慮者利用施設管理者に対する避難確保計画作成・避難訓練実施支援】

【全県的な取組み】

- 県内全ての要配慮者利用施設が早期に避難確保計画を作成するよう、施設管理者を対象に以下の取組を実施  
その結果、本県の計画作成率（洪水）は2.9%（H31.3月）から89.9%（R3.9月）に向上
  - ① 避難確保計画作成講習会の開催及び施設への個別訪問の実施
  - ② 講習会に参加できなかった施設に向けて、計画作成支援動画を作成し、Youtubeで公開
  - ③ 施設が容易に自施設の浸水深を確認できるよう、県ホームページ（防災情報くまもと）を改修
- 施設に洪水時の避難訓練実施方法を伝えるため、避難訓練研修会をWeb開催（約1,000施設が参加）
- 今後、五ヶ瀬川水系における県管理河川の浸水想定区域図公表に伴い、五ヶ瀬川流域の要配慮者利用施設が新たに市町村地域防災計画に位置付けられた場合は、速やかな避難確保計画作成及び避難訓練の実施を支援

県ホームページ(防災情報くまもと)の改修内容

防災情報くまもと  
Kumamoto Disaster Prevention Portal

地点をクリックすれば、浸水の原因となる河川ごとの浸水深が確認可能

※浸水想定区域の洪水情報表示時、ハザードマップの浸水想定区域をクリック  
※水位周知河川以外の河川における洪水浸水想定区域図が5月31日に公開  
リンク：水位周知河川以外の河川における洪水浸水想定区域図について

洪水浸水想定 浸水深	
緑川：国管理	5.0～10.0m
木山川	3.0～5.0m
矢形川	3.0～5.0m
加勢川：国管理	3.0～5.0m
御船川：国管理	3.0～5.0m

浸水想定区域

洪水

津波

高潮

ため池

ため池情報

研修風景



⑤ 情報伝達・情報共有・情報提供

【ホームページ「防災情報くまもと」の公開】

- 防災情報を一元的に入手できるホームページ「防災情報くまもと」を運用開始。
- 警報・注意報等の気象情報、市町村の出す避難情報を地図・表等で分かりやすく提供。
- 浸水想定区域や土砂災害警戒区域を地図上に表示し、事前に災害リスクの確認も可能。

《主な提供情報》

- ・ 市町村が発する避難情報の発令状況や、避難所の開設情報
- ・ 気象情報（注意報、警報、土砂災害警戒情報等）
- ・ 大雨による土砂災害や洪水等の危険度情報
- ・ 降水量や河川水位などの観測情報

市町村	避難所名	開設状況	ルート検索	住所
熊本市	出光小学校	---	検索	熊本市中央区出水1丁目1-75
熊本市	出水南小学校	---	検索	熊本市中央区出水4丁目1-1
熊本市	出水南中学校	---	検索	熊本市中央区出水4丁目3-1
熊本市	一和小学校	---	検索	熊本市中央区新町2丁目10-45

**効果**：気象情報（注意報、警報、土砂災害警戒情報等）や、市町村が発する避難指示等の情報をわかりやすく提供することにより、避難を促す。  
また、多言語表示にも対応し、外国人も防災情報の確認が可能。

# 令和3年度の実施取組内容

## 大分県

①ハザードマップの作成

【中小河川等洪水時ハザードマップ作成にかかる支援】

○災害の危険性の見える化により、洪水等からの逃げ遅れが無いよう、適切な避難行動を促進

① 中小河川等洪水時ハザードマップ作成支援

☑頻発する豪雨災害に対応するため、以下の観点から優先順位を定め、R3～5の3年間で迅速に作成

- 考え方
- (県内全585河川のうち)
  - ①過去に浸水実績のある河川
  - ②河川背後地に資産(住居等)が集中(人家50戸以上目安)
  - ③要配慮者利用施設が河川近傍に存在

中小河川等浸水想定区域図作成・ハザードマップ作成支援<246河川>  
⇒人家や重要施設の多くをハザードマップでカバーが可能に



<効果>

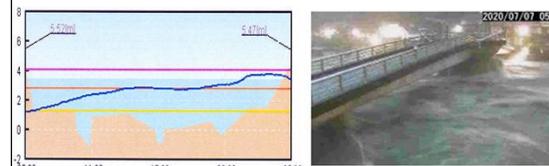
中小河川等での住民の避難体制を構築

② 中小河川等への水位計・河川カメラ増設

☑住民の避難行動を促すための視覚情報を充実するため、従前の大規模河川等に加え、中小河川等へも水位計・カメラを増設

- 考え方
- ☑過去に浸水実績のある河川
  - ⇒浸水実績のある河川については、ハザードマップに加え、視覚情報を用いて、より緊迫感を持って避難行動を促す

◆水位計：既設127基 + 増設24基 = 計各151基設置  
◆カメラ：既設82基 + 増設69基 = 計各151基設置



(県HPや防災アプリ等で視覚情報を発信)

<効果>

視覚情報等の提供により、適切な避難行動を促進

県管理河川<585河川>	
水位周知河川等<84河川>	その他(中小)河川<501河川>
<p>1)-1 HM作成 84河川</p> <p>&lt;現状&gt; ・水位周知区間のみHMあり</p> <p>&lt;R3~5&gt; ・全区間分作成</p>	<p>1)-2 HM作成 171河川</p> <p>&lt;現状&gt; ・HMなし</p> <p>&lt;R3~5&gt; HM作成 ・人家50戸以上目安 (要配慮者施設考慮)</p>
<p>2) 水位計・カメラ設置 ⇒浸水実績のある箇所へ増設</p> <p>&lt;水位計&gt; 既設127基 + 増設24基 = 151基</p> <p>&lt;カメラ&gt; 既設82基 + 増設69基 = 151基</p>	
<p>50戸未満だが近傍に要配慮者施設あり</p>	
<p>(その他 人家0戸: 97河川 人家1戸~50戸未満: 233河川)</p>	

①について大分県内の五ヶ瀬川水系では市園川 外6河川を作成予定

②について大分県内の五ヶ瀬川水系では増設の予定なし。

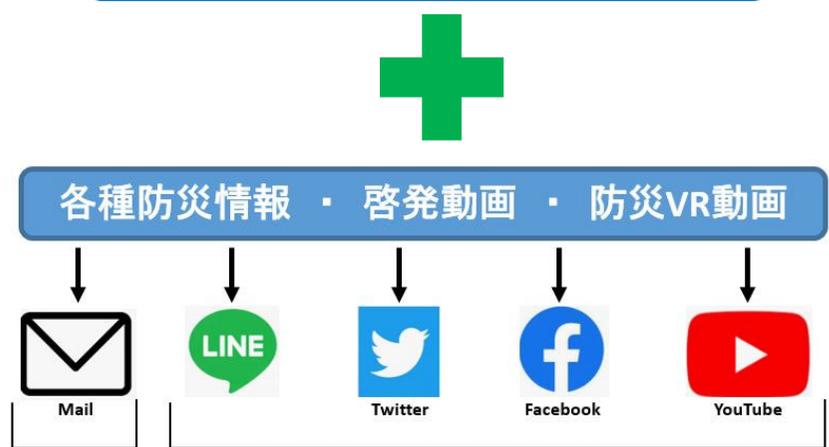
⑤情報伝達・情報共有・情報提供

【県民安全・安心メールやおおいた防災アプリによる防災気象情報の配信】

～R2 おおいた防災アプリ、  
県民安全・安心メール



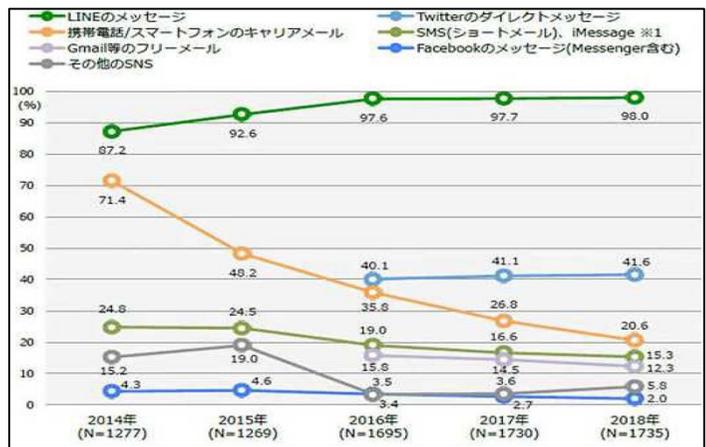
R3～ おおいた防災アプリ



従来 新規(SNSを配信先として追加)

SNSの活用

大学生の友人との連絡手段



登録件数 R4.1.31 時点

おおいた防災アプリ	[H31.4～]	39,934
県民安全・安心メール	(mail) [H20.9～]	26,347
	<b>(SNS)[R3.10～]</b>	<b>63,730</b>

登録数の大幅増を目指す!

⑤情報伝達・情報共有・情報提供

【おおいた防災VRや防災啓発動画による防災意識の醸成】

おおいた防災VR

【事業目的】

防災意識の醸成、早期避難の促進

【制作コンテンツ】

地震編、津波編、土砂災害編（R1）

洪水・浸水害編、台風編（R2）

【運用方法】

- ・学校や地域の防災訓練等で活用
- ・県振興局等で視聴用ゴーグルを貸出
- ・「YouTube」で全編公開



啓発動画

【事業目的】

コロナ禍における個人や世帯単位の啓発、防災の日常化

【制作コンテンツ】

事前の備え編、災害風水害編、災害地震・津波編、県の取組編（R3）

【運用方法】

- ・「YouTube」で全編公開
- ・県防災対策企画課でDVDを貸出



# 令和3年度の実施取組内容

## 延岡市

## ②水害リスク・ハザードマップの周知

【防災組織、自治会、学校教育機関、企業、福祉施設等を対象とした防災意識調査を踏まえた防災訓練、防災教育等の推進】

- 自主防災組織や企業、学校などでの防災講話や防災訓練
- 自主防災組織に対して防災資機材等の補助
- 地域に対して、内閣府のモデル事業を活用した地区防災計画の作成支援
- 防災士や災害ボランティアリーダーなど防災関係団体との連携促進



学校や地区などでの防災講話・避難訓練  
(R3.7.17 大貫下区防災講話)  
参加者 29名



地域に対する地区防災計画の作成支援  
(R3.11.14、R3.12.5 富美山北区にお  
いてWSの開催)  
参加者 55名



災害ボランティアリーダー養成講座  
(R3.6.27 主催：延岡市社会福祉協議  
会)  
参加者 37名

### ◆成果・課題・今後の予定

- R3年度実績 防災講話：83回 2,231人 避難訓練：45回 4,537人 (R3.12末時点)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が同一会場に集まる防災講話や訓練が実施しにくい状況があるため、防災講話の動画を作成し、ホームページで公開している。
- 今後さらに、各地区において積極的な地区防災計画の作成支援に取り組んでいく。

②水害リスク・ハザードマップの周知

【多数の住民（観光客等）が利用する場所等への洪水ハザードマップの掲示、外国人向けの多言語での防災情報提供の検討】

④実効性を高める訓練、研修会の実施

【地域で生活する外国人を含めた災害時の安全確保のための防災訓練の実施】

◆外国人向け多言語での防災情報提供、外国人向け防災講話

- 市ホームページ、延岡市わが家の防災ハンドブックに外国人向け防災情報及び情報の取得方法を掲載
- 延岡での生活をサポートする研修の中で外国人向けの防災講話を実施



外国人のための防災パンフレット

URL <http://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/display.php?cont=170208142311>

Procedures in the Event of a Natural Disaster

English 韓国 简体中文 繁體中文

For your safety, please be sure to check with your neighbors and the chief of the ward in which you live about the appropriate procedures for different natural disasters, as well as the locations of evacuation areas.

Safety tips

(外国人旅行者にもわかりやすく災害情報を通知する便利ツール)



URL <https://www.rcsc.co.jp/safety-tips-en>

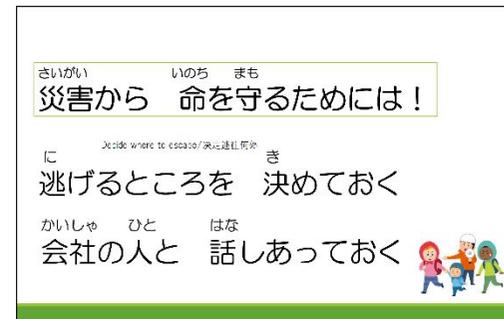
Safety tips

English 韓国 简体中文 繁體中文

"Safety tips" notifies a user with Earthquake Early Warnings, Tsunami Warnings, Volcanic Warnings, Weather Warnings, Heat illness Warnings and Civil Protection Information issued in Japan.

It is a free application developed under the supervision of Japan Tourism Agency.

延岡市わが家の防災ハンドブックに外国人のための防災パンフレットや外国人旅行者等に災害情報を通知するツールの情報を掲載



外国人向けの防災講話資料 (R3.11.14実施)

◆成果・課題・今後の予定

- 外国人向け多言語での防災情報の提供を行っている。
- 避難所等で多言語対応が可能な体制を検討する必要がある。

②避難確保計画、個別避難計画、避難訓練

【要配慮者等を対象にした避難体制の確立及び避難方法の周知】

○個別避難計画の作成推進のために内閣府のモデル事業を活用し、全国のモデル事業参加自治体とノウハウを共有しながら、個別避難計画の効果的・効率的な作成手法を検討している。

○市役所庁内の危機管理部局と福祉部局が連携し、自主防災組織や民生委員など地域の活動団体、福祉専門職、福祉系大学教授から構成される個別避難計画策定検討委員会を組織した。計画作成に関する課題を整理しながら、行政と地域、福祉専門職が一体となって、高齢者や障がい者などの支援の必要性に応じた体制を構築するための協議を行っている。

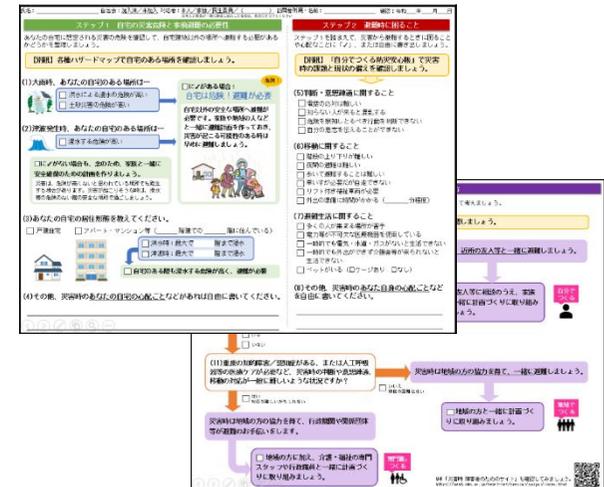
○計画作成に携わる地域や福祉専門職の方々が簡易に、かつ一定の精度をもって計画を作ることができるよう「課題分析シート」を作成した。モデルケースの避難における課題分析（アセスメント）を行いながら、「課題分析シート」の実効性を試行している。



個別避難計画作成推進体制イメージ



個別避難計画策定検討委員会 (R3年9月～R4年2月 計4回開催)



課題分析シート

■【今後の取り組み】

○優先度の高い避難行動要支援者より、地域の実情を踏まえながら作成していく。次年度以降は「課題分析シート」等を活用しながら個別避難計画作成を担う関係者等への研修を実施する。市内全域に展開できる仕組みづくりを行うとともに、各地区で作成する地区防災計画との連携を検討している。

②避難確保計画、個別避難計画、避難訓練

【法律で義務化された要配慮者利用施設における避難確保計画の策定促進、個別避難計画作成及び避難訓練等の支援】

※ 個別避難計画については【要配慮者等を対象にした避難体制の確立及び避難方法の周知】に記載

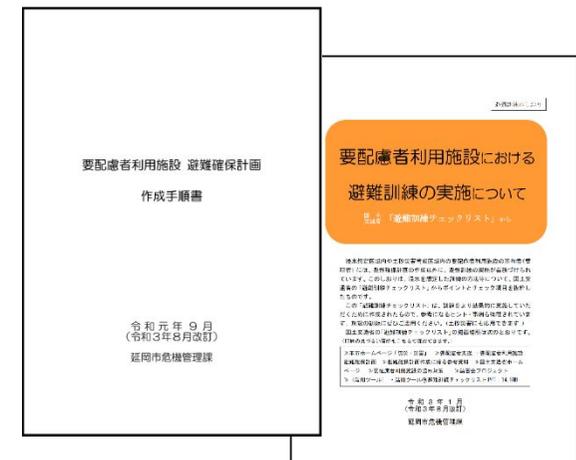
- 要配慮者利用施設避難確保計画作成等が義務化されたことを受け、平成31年1月9日に要配慮者利用施設を対象に作成に関する講習会を開催。併せて翌2月6、7日に災害時に安全に避難する方法等をテーマにワークショップを開催した。
- 要配慮者利用施設が提出した避難確保計画について、県及び市の各施設を所管する部局と防災部局の双方で点検を行い、必要時には施設に助言等を行っている。
- 避難確保計画に係る令和3年5月の水防法及び土砂災害防止法の改正を受け、避難の実効性を確保するための計画作成支援講習会（県主催）を実施し、施設管理者や所有者等、約200名が参加した。
- 施設へ「避難確保計画作成手順書」のほか「避難訓練のしおり」を作成、配布し、適切な計画作成と効果的な避難訓練の普及を図るとともに、計画未作成の施設を訪問して計画作成の意義を説明し、全施設の計画作成に向け取り組んでいる。



作成支援ワークショップ（H31.2.6/2.7実施）  
【講習会及びワークショップ参加団体数：241団体】



計画作成支援講習会（R3.11.15 実施）  
【参加者数：約200名】



避難確保計画作成手順書・避難訓練のしおり

■【延岡市の要配慮者利用施設避難確保計画の作成状況】

- 対象施設（洪水・土砂災害） 501施設
- うち避難確保計画作成済み施設数 492施設（作成率98.2%）※令和3年12月末
- 今後、計画未作成施設に作成を促すとともに、引き続き計画作成に向けた支援を行う。
- 新たに追加する施設については、速やかに避難確保計画が作成できるよう、関係機関と連携し支援を行う。

### ③避難所及び避難路の整備

**【災害時における逃げ遅れをなくすため、要配慮者の災害対応能力を考慮した避難所及び避難路等の整備】**  
**【民間企業や福祉施設等と連携した指定避難所・指定緊急避難場所の確保】**

#### ◆指定避難所・指定避難場所の確保と環境改善

- 県立学校や民間施設等と連携し避難所及び避難場所の利用に関する協定を締結
- 災害時の逃げ遅れゼロを目指して多目的トイレの設置や段差解消など避難所等の環境を改善



延岡星雲高校との避難所等施設利用に関する協定締結報告会（令和3年1月14日）



多目的トイレ設置後の三川内小中学校体育館

#### ◆成果・今後の計画

##### 【避難所等環境改善事業】

- 三川内小中学校に多目的トイレ、段差解消のスロープを設置(令和3年9月完成)
- 上南方小学校体育館のトイレ洋式化、多目的トイレの開閉扉の改修(令和4年2月末完成予定)
- 板張りの避難場所の寝づらさを解消するための敷マットの購入(令和3年度200枚、令和4年度200枚)
- 避難場所等の環境改善のため、学校の特別教室など空調設備を整備予定(17校42箇所整備予定)

⑤情報伝達・情報共有・情報提供

【迅速な災害情報入手のための交通事業者やインフラ事業者等と連携した情報提供の検討】

- ◆災害時にあらゆる手段を用いて情報を伝達するための体制の整備
- 防災行政無線、災害情報メール、ホームページ、フェイスブック、ライン、による情報発信に加え、防災アプリの導入により、各種ツールのワンオペレーション化
- 防災行政無線とコミュニティ放送（FMのべおか）を活用した自動起動型防災ラジオの導入

延岡市公式ライン



防災アプリ「防災のべおか」



R3.6月1日 配信開始

防災ラジオ



コミュニティ放送（FMのべおか）を活用した自動起動型防災ラジオ

◆成果・今後の取り組み

- 延岡市防災ラジオの整備（令和3年度159台販売、令和4年度200台販売予定）
- 延岡市防災アプリの整備（令和4年1月4日現在 登録者数4,470人）
- 防災ラジオ活用の周知、災害情報メール・公式ライン・防災アプリ等の利用登録を促進

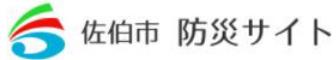
# 令和3年度の実施取組内容

## 佐伯市

②水害リスク・ハザードマップの周知

【佐伯市ハザードマップ・防災マップ】

○佐伯市のハザードマップはホームページにて、水害や土砂災害に関するリスクを確認できるようにしている。



ホーム > 防災サイト > 分類から探す(防災サイト) > 防災マップ > 洪水ハザードマップ > 佐伯地域 > 洪水ハザードマップ(佐伯)

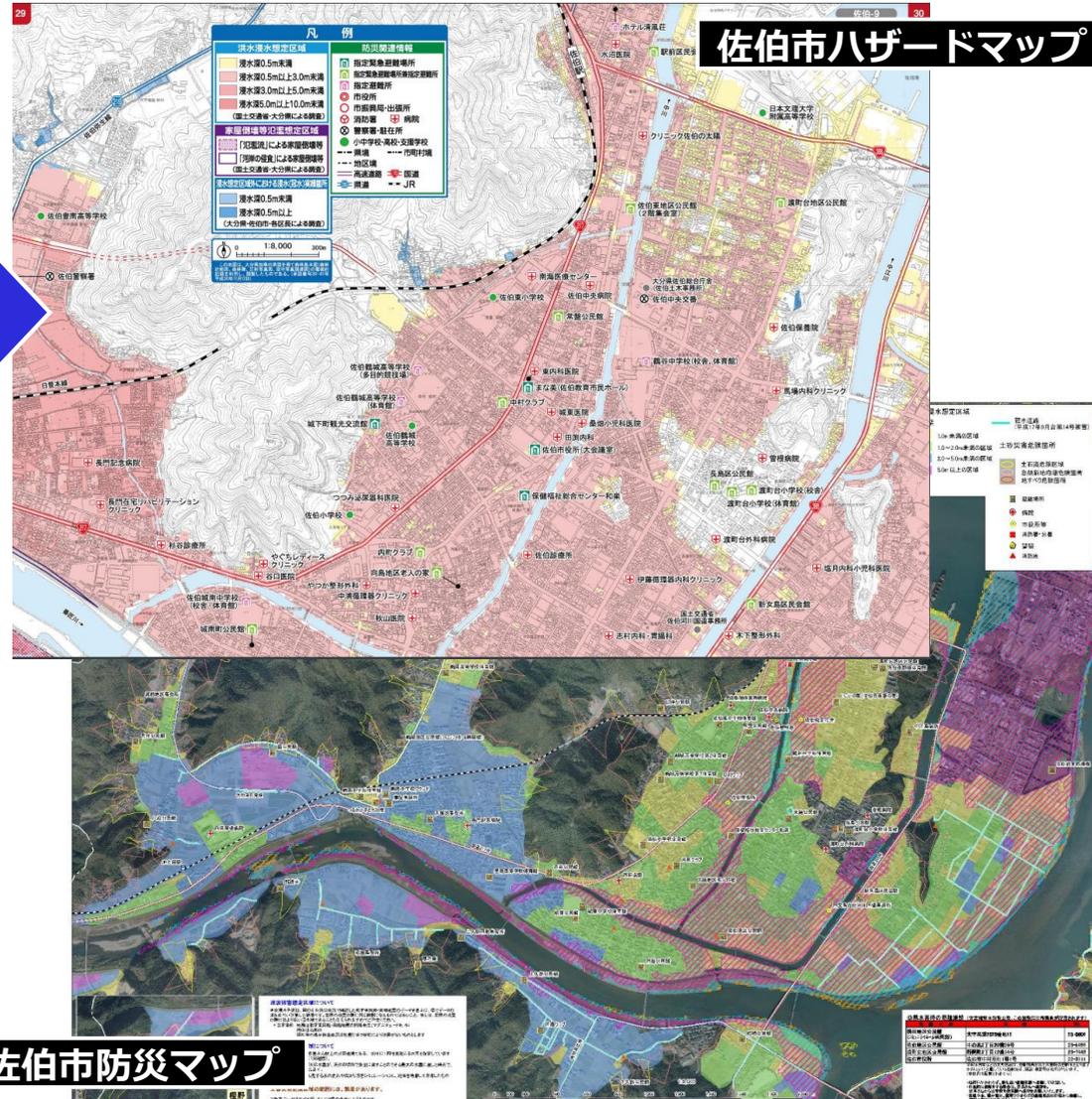
洪水ハザードマップ(佐伯)

最終更新日: 2020年2月14日

洪水ハザードマップ(佐伯地域)

佐伯地域

地域名
佐伯・上浦版 表紙 (PDF: 703.7キロバイト) □
佐伯版1 佐伯(1)・渡町台(1)・佐伯東(1) (PDF: 1.37メガバイト) □
佐伯版2 佐伯(2)・渡町台(2) (PDF: 1.14メガバイト) □
佐伯版3 佐伯(3)・上堅田(1)・鶴岡(1) (PDF: 1.35メガバイト) □
佐伯版4 渡町台(3)・佐伯東(1) (PDF: 882.4キロバイト) □
佐伯版5 上堅田(2) (PDF: 1.08メガバイト) □
佐伯版6 上堅田(3) (PDF: 1.27メガバイト) □
佐伯版7 上堅田(4) (PDF: 1.34メガバイト) □
佐伯版8 上堅田(5) (PDF: 1.35メガバイト) □
佐伯版9 鶴岡(2) (PDF: 1.33メガバイト) □
佐伯版10 鶴岡(3) (PDF: 1.35メガバイト) □
佐伯版11 大入島(1) (PDF: 659.2キロバイト) □
佐伯版12 大入島(2) (PDF: 774.6キロバイト) □
佐伯版13 八幡(1)・佐伯東(2) (PDF: 1.07メガバイト) □
佐伯版14 西上浦(1)・八幡(2) (PDF: 1.01メガバイト) □
佐伯版15 西上浦(2)・八幡(3) (PDF: 1015.5キロバイト) □
佐伯版16 下堅田(1) (PDF: 1.26メガバイト) □
佐伯版17 下堅田(2)・青山(1) (PDF: 1.3メガバイト) □
佐伯版18 青山(2) (PDF: 1.32メガバイト) □
佐伯版19 青山(3) (PDF: 1.28メガバイト) □
佐伯版20 青山(4) (PDF: 1.28メガバイト) □
佐伯版21 青山(5) (PDF: 1.31メガバイト) □
佐伯版22 木立(1) (PDF: 1.18メガバイト) □
佐伯版23 木立(2) (PDF: 1.26メガバイト) □



# 令和3年度の実施取組内容

## 高千穂町

## (2) ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

高千穂町

### ②水害リスク・ハザードマップの周知

【高千穂町防災マップWEB版】

○高千穂町防災マップWEB版によって、水害や土砂災害に関するリスクを確認できるようにしている。

高千穂町防災マップ(Web版)

災害から選ぶ

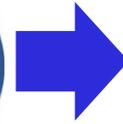
ご確認されたい災害をお選びください



土砂災害に関するマップ



水害に関するマップ



高千穂町防災マップ(Web版)

災害から選ぶ

ご確認されたい災害をお選びください



浸水想定区域  
(想定最大規模)  
L2マップ



浸水継続時間  
に関するマップ



家屋倒壊等  
氾濫想定区域  
に関するマップ



浸水想定区域  
(計画規模)L1  
マップ



浸水実績  
に関するマップ

高千穂町防災マップ(Web版)

災害から選ぶ

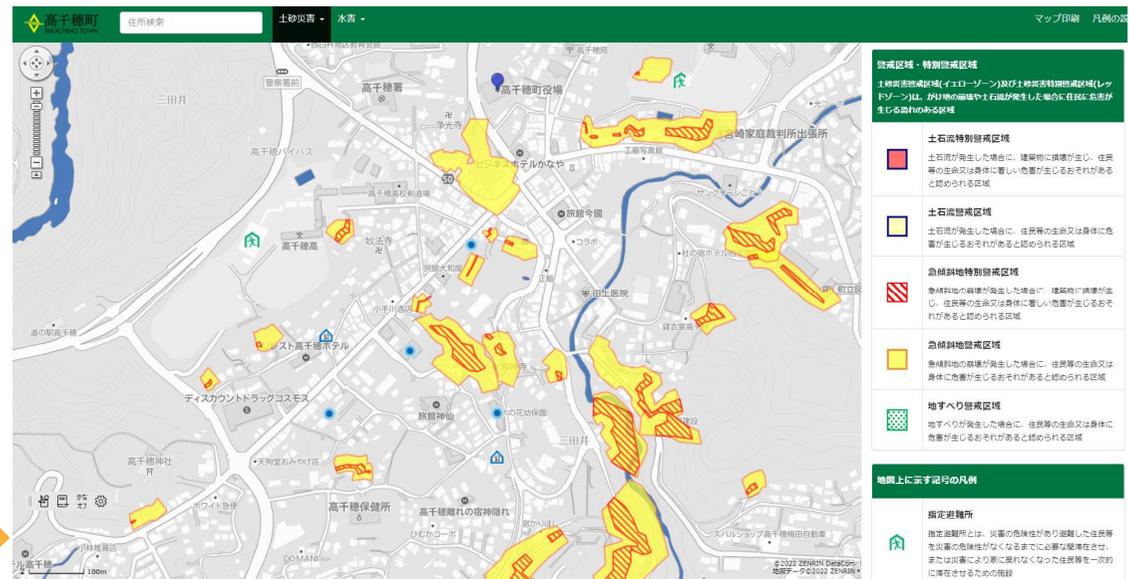
ご確認されたい災害をお選びください



警戒区域  
特別警戒区域  
に関するマップ



危険箇所  
に関するマップ



# 令和3年度の実施取組内容

## 日之影町

⑩防災拠点・防災ネットワークの検討・整備

【防災拠点の整備】

- 洪水・地震等においても安全な防災拠点施設として機能する役場の建設（庁舎移転）
- 日之影町：日之影町役場新庁舎建設事業 令和3年5月6日新庁舎開庁



平成17年9月洪水による五ヶ瀬川本川沿い日之影地区の被災状況

平成17年9月 台風14号 被災状況

○日之影町役場の現庁舎本館は昭和31年に建設されて以来60年以上が経過し、施設全体に老朽化が進んでいる状況であり、平成29年8月に新庁舎を建設する運びとなった。新庁舎建設の建設地選定にあたっては、平成17年9月の台風14号での五ヶ瀬川の氾濫に伴い、庁舎1階が浸水した経緯に加え、国内各地では、想定を超える雨量による水害も頻発しており、本町でも今後起こりうる事が予想され、防災拠点としての安全性が確保が困難である事も一つの要因となり、現在の場所から高台へ移転する事となり、令和元年11月に新庁舎建築工事を着工し、令和3年3月31日に完成、令和3年5月6日より、新庁舎での業務を開始している。



# 令和3年度の実施取組内容

## 五ヶ瀬町

⑩防災拠点・防災ネットワークの検討・整備

【防災拠点の整備】

- 洪水・地震等においても安全な防災拠点施設として機能する役場の建設（庁舎移転）
- 五ヶ瀬町：五ヶ瀬町役場新庁舎建設事業 令和2年1月～令和3年9月完成



平成17年9月 台風14号 被災状況

○現庁舎は、五ヶ瀬川水系三ヶ所川沿いにあり、これまでの大雨時には1階部分が浸水するなど、災害に脆弱な状況であり、耐震診断結果においても、極めて耐震性が低いと診断された。  
これを受け、防災拠点施設である災害対策本部室及び町長室等を新庁舎2階部分に配置する計画となり、平成30年3月に基本構想を策定し、令和3年9月28日に開庁となった。



# 令和3年度の実施取組内容

## 高森町

①ハザードマップの作成

【地域防災マップの作成】

○水害・土砂災害等に関する危険区域の周知や避難に関する知識の習得、地域コミュニティの強化を図るため、地域防災マップ作成支援を実施。

作成支援の流れ

1. 事前準備  
地区の選定、資料準備、事前打合せを行う
2. マップ作成  
地区住民へ地域防災マップについて説明し、話し合いながらマップを作成する

高森町の場合

開催地：河原地区  
参加人数：14人

町民感想

- ・危険場所を確認できた
- ・高齢者が多い地区のため地元消防団と連携する必要がある等



【ハザードマップの作成状況】

# 令和3年度の実施取組内容

## 山都町

